

2020年11月 8日 主日礼拝

司式：土門長老

奏楽：岩井真

\*以下、太文字の言葉はみんなで声を合わせます。

《神のみ前に近づく》

前奏 J.S.バッハ 悩みの時も、いざ喜べ、愛するキリスト者よ

序詞 (ヴォータム)

わたしたちの助けは、天と地を造られた神からきます。

アーメン。

あいさつ

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりが、あなたがたとともにありますように。

そして、また、あなたとともにありますように。

アーメン。

讃美歌 8-1節 (心の底より)

罪の告白 (声を張り上げないで共に祈ります)

父なる神さま、あなたの恵みと慈しみをたくさん与えられているにもかかわらず、何も与えられていないかのように不満と不平の中に生きている私たちの罪を赦してください。さまざまな不自由さや限界を感じてしまう日常にありながらも、それに増して、あなたから限りのない祝福と自由とを与えられていることに目を留めていくことができますように。そのために、あなたをいつも見上げて生きていけますように導いてください。

教会の高齢者を覚えてください。支えと癒しを注いで下さい。教会の子どもたちや若い魂を力強く導いてください。壮年や婦人の心と体を癒してください。すべての者に聖霊を注いでください。

「わたしたちはあなたの民

あなたに養われる羊の群れ。

とこしえに、あなたに感謝を献げ、

代々(よよ)に、あなたの栄誉を語り伝えます。」

(詩編 79:13)

\*しばらく黙祷の時をもちます

主よ、私たちの心と体をとらえ、生き返らせ、喜びで満たしてください。御名によって祈ります。アーメン。

本日の集会 礼拝前：・求道者会、礼拝後：・壮年会・

婦人会・ダビデ会・幼稚園理事会・聖歌隊練習

讃美歌 32 (キリエ) = 座ったままで

赦しの確認と保証 (司式者のみ)

主の赦しと慰めの言葉をお聞きください。

\*司式者がローマ書5章6～9節を朗読します。

アーメン。

《神のみ言葉の宣教》

聖書

ゼカリヤ書 4章11～14節 (旧p1484)

これは神の言葉です。

神に感謝します。

ヨハネの黙示録 11章1～13節 (新p464)

これはキリストの福音です

主なるキリストを賛美します。

み言葉を求める祈り (司式者)

讃美歌 157-1, 2節 (いざ語れ、主の民よ)

説教

『二人の証人の復活』

祝福の祈り

武田真治 牧師

《神への応答》

讃美歌 327-1, 2節 (すべての民よこべ)

献金

奉仕者：岩井 岩佐い

とりなしの祈り (司式者)

主の祈り 93-5 (ともに祈りましょう)

報告

讃美歌 92-1節 (主よ、わたしたちの主よ)

祝祷

武田真治 牧師

後奏

J.K.フェルナド フィンチャー  
プレリュードとフーガ

報告と退場

お茶の会 当分の間休会です。

《先週の説教から》

『召天者記念礼拝—破れ口に立つ者たち』

エゼキエル書 22:27～31 マタイ福音書 5:1～12

今日のエゼキエル書には「この地を滅ぼすことがないように、わたしは、わが前に石垣を築き、石垣の破れ口に立つ者を彼らの中から探し求めたが、見いだすことができなかった。それゆえ、わたしは憤りを彼らの上に注ぐ」とあります。「破れ口」とは城壁の弱い所や崩されようとしている場所のことです。敵が攻める絶好の攻撃ポイントです。その破れ口に「立つ者」は、その敵を迎い打つ者となり、命懸けで戦う者となるということなのです。

ここで大事なことは、神様が「破れ口に立つ者」を彼ら(=イスラエルの民)から探し求めたが、誰もいなかったで「憤りを注ぐ」と言われている点です。自分の国が危機なのに、命を賭けて破れ口に立つ者がいなかったため、滅びるしかない。逆に言えば、その破れ口に立つ者が一人でもいたなら、滅びは免れたのです。破れ口に立つ者は、その国や町の滅びを留める者でもあるのです。

今日は召天者を覚えて礼拝を献げています。信仰の先輩たちを思います時に、みなさん、どこかでこの世や地域や家族の破れ口に立って生きられた方々であったと改めて思います。そうして、各々の滅びを留めたのでした。信仰者はどこかで、神様にそのような生かされるのではないかと思います。

私たちは、自分の破れ(=罪)を自覚し、担いながら生きている者です。だから、この世や他者の破れも分かるのでは？ 自分の破れ(=罪)を知っているからこそ、その「破れ口」を担って行く決意と力も与えられるのではないかと思います。これこそ、イエス様の言われる「自分の十字架を背負って、私に従いなさい」ということではないでしょうか。

受付：飯田 吉岡 礼拝：齋藤長老